

(3) 日本の学校を卒業した方にかかっています。就職活動に際して何社くらいに応募しましたか。応募した会社の数を記入してください(概数でかまいません)。
()社くらい

II あなたの現在の仕事や働き方についてうかがいます。

問9 いつから現在の会社に働いていますか。働き始めた年月を記入してください。
西暦()年()月から現在の会社で働いている

問10 現在の勤務先の会社の業種はどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 鉱業、採石業、砂利採取業
- 2 建設業
- 3 製造業→付問に進んでください。
- 4 電気・ガス・熱供給・水道業
- 5 情報通信業
- 6 運輸業、郵便業
- 7 卸売業、小売業
- 8 金融業、保険業
- 9 不動産業、物品賃貸業
- 10 学術研究、専門・技術サービス業
- 11 宿泊業、飲食サービス業
- 12 生活関連サービス業、娯楽業
- 13 教育、学習支援業
- 14 医療、福祉
- 15 複合サービス業
- 16 サービス業(他に分類されないもの)
- 17 その他
(具体的に:.....)

付問「3 製造業」とご回答の方にかかっています。主な事業の業種はどれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 食料品製造業
- 2 飲料・たばこ・飼料製造業
- 3 繊維工業
- 4 木材・木製品製造業(家具を除く)
- 5 家具・装飾品製造業
- 6 パルプ・紙・紙加工品製造業
- 7 印刷・関連業
- 8 化学工業
- 9 石油製品・石炭製品製造業
- 10 プラスチック製品製造業
- 11 ゴム製品製造業
- 12 なめし革・同製品・毛皮製造業
- 13 窯業・土石製品製造業
- 14 鉄鋼業
- 15 非鉄金属製造業
- 16 金属製品製造業
- 17 はん用機械器具製造業
- 18 生産用機械器具製造業
- 19 業務用機械器具製造業
- 20 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 21 電気機械器具製造業
- 22 情報通信機械器具製造業
- 23 輸送用機械器具製造業
- 24 その他(製造業)
- 25 その他
(具体的に:.....)

問11 あなたが現在働いている会社の従業員(正社員)は、全部で何人ですか(日本国内の本社、支社、工場などを含めた会社全体)。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 100人未満
- 2 100～299人
- 3 300～499人
- 4 500～999人
- 5 1000～4999人
- 6 5000人以上
- 7 わからない

問12 あなたが現在働いている会社は、いわゆる外資系ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

問13 あなたは、現在、正社員として働いていますか、それとも契約社員として働いていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 正社員(期間の定めのない雇用契約の社員)
- 2 契約社員(期間の定めのない雇用契約の社員)

付問「2 契約社員」とご回答の方にかかっています。現在の雇用契約の期間はどれくらいですか。年月を記入してください。
()年()か月

問14 あなたは、現在の会社に就職するとき、どのような方法で就職しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 新聞や雑誌の求人広告、就職情報誌
- 2 インターネットの求人サイト
- 3 企業のホームページからの応募
- 4 就職セミナー
- 5 学校の就職部(キャリアセンター、キャリアオフィス)、指導教授の紹介
- 6 家族・親族、友人、知人の紹介
- 7 ハローワーク(公共職業安定所)や外国人雇用サービスセンター
- 8 民間の職業紹介会社
- 9 ヘッドハンティング
- 10 海外の親会社や関連会社からの派遣
- 11 その他
(具体的に:.....)

問15 あなたは、現在の会社に応募するときに、どのようなことを重視して応募しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 企業の知名度やブランドイメージがよいこと
- 2 学校で学んだことを仕事で活かすことができること
- 3 日本語や母国語など、語学力を仕事で活かせること
- 4 企業が持っている技術を学ぶことができること
- 5 仕事の内容
- 6 賃金水準が高いこと
- 7 企業の教育訓練や能力開発の制度が充実していること
- 8 自分の将来のキャリアにプラスになること
- 9 母国の現地法人や支店・営業所などに赴任できること
- 10 外国人採用の実績があること
- 11 昇進ができること
- 12 その他

(具体的に:.....)

問16 あなたが現在の会社で働き始めた頃、仕事をすることで何かわからなかったことがあったり、仕事上のトラブルが起きたとき、社内で誰に相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 職場の上司
- 2 職場の先輩や同僚
- 3 先輩の外国人社員
- 4 あなたの教育・指導を担当する社員（メンター）
- 5 人事担当者
- 6 誰にも相談しなかった
- 7 その他

(具体的に:.....)

問17 あなたが現在担当している主な仕事は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 会社の経営全般
- 2 総務・秘書・人事・広報など
- 3 販売・営業
- 4 貿易実務
- 5 商品開発、サービス開発
- 6 金融関係
- 7 研究開発
- 8 調査・コンサルティング
- 9 生産・製造
- 10 システム開発・設計
- 11 通訳・翻訳
- 12 デザイン
- 13 記者・番組制作
- 14 医療・保健
- 15 法律・会計業務
- 16 教育・研修
- 17 その他

(具体的に:.....)

問18 現在のあなたの職位は、どれですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 部長クラス以上
- 2 課長クラス
- 3 係長・主任クラス
- 4 役職なし（一般社員）
- 5 その他

(具体的に:.....)

問19 あなたが現在担当している仕事では、どのくらいのレベルの日本語能力が必要ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 日本語で報告書やビジネスレターなどの文書を作成できるレベル
- 2 報告書やビジネスレターを作成するほどではないが、ビジネス上のやり取りができるレベル
- 3 簡単な日常会話ができるレベル
- 4 日本語はほとんど必要ない
- 5 その他

(具体的に:.....)

問20 あなたは現在、海外関連の業務を担当していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 海外と関連のある業務も担当している→付問20-1、付問20-2に進んでください。
- 2 海外と関連のある業務は担当していない
- 3 会社に海外と関連のある業務はない
- 4 その他

(具体的に:.....)

付問20-1 「1 海外と関連のある業務も担当している」とご回答の方にかがいます。あなたが担当している海外と関連のある業務は、どのような仕事ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 海外の取引先と直接やり取りする仕事
- 2 工場や現地法人の立ち上げなど、新たに海外進出するときの業務
- 3 海外にある自社の工場や現地法人とのやり取り
- 4 その他

(具体的に:.....)

付問20-2に進んでください。

付問20-2 あなたが現在担当している仕事と同じ仕事をしている日本人社員はいますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 同じ仕事をしている日本人社員がいる
- 2 同じ仕事をしている日本人社員はいない
- 3 わからない

問21 あなたは、現在の仕事の内容にどのくらい満足していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば不満である
- 4 不満である

問22 あなたは、公的社会保障・労働保険に加入していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 厚生年金保険に加入している
- 2 健康保険に加入している
- 3 雇用保険に加入している
- 4 どれにも加入していない
- 5 わからない

問23 あなたは、日本で働き始めてから転職をしたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 転職をしたことがある(付問に進んでください)
- 2 転職をしたことはない(今の勤め先以外では働いたことがない)

付問 「1 転職をしたことがある」とご回答の方には、現在の会社の直前に勤務していたのはどのような会社ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 日本国内にある日本企業
- 2 日本国内にある外国企業
- 3 その他

(具体的に:.....)

Ⅲ 将来の希望についてうかがいます。

問24 あなたは、これからも日本で働きたいと思っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 現在の会社ですつと働くつもりである(付問に進んでください)

- 2 現在の会社かどうかはわからないが、ずっと日本で働きたい
- 3 将来は母国に帰って母国の会社で働きたい
- 4 将来は独立開業したい(日本、母国、日本や母国以外の国を含む)
- 5 条件があれば日本や母国以外の国で働きたい
- 6 その他

(具体的に:.....)

付問 「1 現在の会社ですつと働くつもりである」とご回答の方には、あなたが、現在の会社でどのようなキャリアを積みみたいと思えますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 会社・会社グループ全体の経営を担う経営幹部
- 2 海外の現地法人の経営幹部
- 3 高度な技能・技術を活かす専門人材(研究者、技術者など)
- 4 海外との取引を担う専門人材(海外営業)
- 5 その他

(具体的に:.....)

問25 あなたが、これからも現在の会社で働き続けるとして、最終的にどの職位まで昇進できると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 部長クラス以上
- 2 課長クラス
- 3 係長・主任クラス
- 4 役職なし(一般社員)
- 5 その他

(具体的に:.....)

IV 日本企業で外国人が働くことについてうかがいます。

問26 あなたが日本で外国人の高度人材として働いていく上で、現在の在留資格制度に關することで制約になっていることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 申請手続きが煩雑である
- 2 手続きの処理に時間がかかる
- 3 手続きにノウハウが必要である、手続きの仕方がわかりにくい
- 4 外国人の高度人材がどの在留資格に該当するのかわかりにくい
- 5 資格外活動への制約が厳しい
- 6 在留期間の長さの制約があり、活用しにくい
- 7 配偶者の就労の制約がある
- 8 申請が認可されるかどうかわかりにくい
- 9 親、家事使用人の帯同に制約がある
- 10 その他

(具体的に:

11 特に問題はない

問27 外国人の高度人材が日本企業に就職する際に、どのような障壁があると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 日本企業からの求人情報が少ない
- 2 外国人に対する求人数が少ない
- 3 外国人を採用する企業が少ない
- 4 外国人採用枠がない
- 5 外国人に求める日本語能力のレベルが高い
- 6 外国人の採用基準が日本語能力に片寄っていて、専門や経験、能力を評価しない
- 7 企業の募集業種・職種と外国人の希望業種・職種とが合わない
- 8 求人募集に年齢制限がある
- 9 就職活動をはじめめる時期が早く勉強しながら就職活動することが難しい
- 10 就職活動が日本独特でなじめない
- 11 SPI/SPI2、CABなど、日本独特の試験がある
- 12 採用面接での質問の意図がわからない
- 13 企業の新卒採用が4月で海外の教育システムと合わない
- 14 その他

(具体的に:

問28 日本企業に採用された後、外国人の高度人材が定着・活躍していくために、日本企業が取り組んでいく必要があることとはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 日本人社員の異文化への理解を高める
- 2 短期間の勤務でもキャリア形成できるような多様なキャリアアノコースを用意する
- 3 外国人の特性や語学力を活かした配置・育成をする
- 4 学校で学んだ専門性を活かした配置・育成をする
- 5 職務負担を明確にする
- 6 個人業績・成果を重視した評価・処遇制度を構築する
- 7 個人に仕事上の権限と責任を持たせる
- 8 外国人向けの研修を実施する(ビジネスに必要な日本語教育など)
- 9 生活面を含めて相談できる体制を社内に整備する
- 10 仕事と私生活を明確に区別する(仕事と私生活の両立を図る)
- 11 医療、年金、住宅、子どもの教育等の日本での生活環境をサポートすること
- 12 コミュニケーションを円滑にするための取組み(英語環境の整備、日本語教育の強化等)

13 その他

(具体的に:

問29 日本では外国人の高度人材の受入れにあたり、2012年5月から「高度人材に対するポイント制」による出入国管理上の優遇制度(以下、「ポイント制」)が導入されました。あなたは、高度人材外国人に対する「ポイント制」の導入をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 ポイント制の導入を知っている
- 2 ポイント制の導入を知らない
- 3 その他

(具体的に:

— 「高度人材に対するポイント制」による出入国管理上の優遇制度」について—

「高度人材に対するポイント制」による出入国管理上の優遇制度(以下、「ポイント制」とは、現行の外国人受入れの範囲内で、経済成長や新たな需要と雇用の創出に資することが期待される高度な能力や資質を有する外国人(＝高度人材)の受入れを促進するため、ポイントの合計が一定点数に達した者を「高度人材外国人」とし、出入国管理上の優遇措置を講ずる制度です。「ポイント制」では、「学術研究活動」「高度専門・技術活動」「経営・管理活動」の3つの就労活動を設定し、それぞれの特性に応じて、学歴や職歴、年取などの項目ごとにポイントを設けており、ポイントの合計が一定の点数以上に達した方に、出入国管理上の優遇措置が与えられます。詳しくは下記の政府広報オンライン、法務省入国管理局のサイトをご覧ください。

◆政府広報オンライン (<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201205/3.html>)

◆法務省入国管理局 (http://www.immi-moj.go.jp/info/120416_01.html)

付問29-1 あなたは、自分がポイント制の対象となるかどうか検討したり、申請したことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 ポイント制の申請を行い、受諾された
- 2 ポイント制の申請を行ったが、受諾されなかった
- 3 ポイント制の対象になるか検討したが、申請しなかった
- 4 ポイント制の申請を検討したことがない、ポイント制に関心がない
- 5 ポイント制の導入を知らなかった
- 6 その他

(具体的に:.....)

付問29-2 現在のポイント制では、高度人材として入国が認められた場合、以下のような出入国管理上の優遇措置を受けられますが、あなたが外国人の高度人材の社員として定着・活用を図るために効果があると思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

ポイント制の優遇措置の項目	外国人の高度人材の定着に効果があると思う項目 (○は3つまで)
複合的な在留活動の許容	1
最長「5年」の在留期間の付与	2
在留歴に係る永住許可要件の緩和	3
入国・在留手続の優先処理	4
配偶者の就労	5
親の帯同	6
高度人材に雇用される家事使用人の帯同	7
わからない	8
特になし	9

ポイント制の優遇措置の内容は次ページの枠内をご覧ください。

—ポイント制の優遇措置の内容—

- 複合的な在留活動が許容：在留資格制度で取得した在留資格で認められている範囲を超えた種類の在留資格にまたがる複合的な活動を行うことができます。
- 最長「5年」の在留期間の付与：在留資格ごとに設けられている在留期間について、高度人材については、法律上の最長の在留期間が一律に決定されます。
- 在留歴に係る永住許可要件の緩和：高度人材としての活動を引き継ぎ概ね5年間行っている場合に永住許可の対象となります。
- 入国・在留手続の優先処理：入国事前審査手続を申請受理から10日以内、在留手続については申請受理から5日以内をめぐりに優先的に行われます。
- 配偶者の就労：高度人材の配偶者の場合は、高度人材の配偶者としての在留資格で「教育」、「技術」、「人文知識・国際業務」などに該当する活動を行うことができます。
- 親の帯同：年取や同居など一定の要件を満たす場合、高度人材又はその配偶者の3歳未満の妻子を養育するため、高度人材又はその配偶者の両親の入国・在留が認められます。
- 高度人材に雇用される家事使用人の帯同：年取や本国での雇用期間の要件を満たせば、家事使用人を帯同することや、13歳未満の子がいるなどの事情を理由に、外国人の家事使用人を雇用することが認められます。

付問29-3 ポイント制による優遇措置の他に、日本企業への外国人の高度人材の定着を図るために、どのような施策が効果があると思いますか。あなたの経験やお考えを具体的に書いてください。

付問29-4 貴社の外国人の高度人材に社員の定着を図るためには、高度人材が働くための環境整備とポイント制による出入国管理制度の優遇措置を与えることのとどちらが有効だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 高度人材が働くための環境整備が有効だと思う
- 2 どちらかといえばポイント制の出入国管理の優遇措置が有効だと思う
- 3 どちらかといえばポイント制の優遇措置を与えることが有効だと思う
- 4 ポイント制の出入国管理の優遇措置を与えることが有効だと思う
- 5 わからない